

授業シラバス

科目名 (英)	【コミュニケーション】 コアマネジメント・アドバンス I Core Management Advance I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	講義演習	時間数 (単位)	60 4	開講区分 曜日/時限	
【担当教員 実務者経験】							
ブライダル企業を中心に、様々な企業に対する人材育成トレーニング歴15年、および部下指導歴20年の経験を持つ。井上は「禁断の気質学 フォートロジー」の著者。							
【授業の学習内容】							
行動心理学のベーススキルを学ぶことで、問題解決の糸口を見つけることができる。それによって社会人としてのストレスフリーの環境を作り出すことは、学生が社会人になった時にとっても有効なスキルとなり得る。この授業を通して、社会人として必須となるコミュニケーションスキルを学ぶ。							
【到達目標】							
<p><コアマネジメント> 人による言葉の違いと効果的な使い方を理解し、相手の心にきちんと届く言葉を効率よく活用することができる</p> <p><気質学> 生まれ持っている人間の4つのエネルギーバランスから、人との接し方を理解し、「場に合わせた行動」を実践することができる</p> <p><特別講義> 学生から新入社員(社会人)として成果、結果をだしやすい、企業が求める人材のコンピテンシーである能力、知識、コミュニケーション技術に渡って、意識してそれを必要時に選択でき、効果的に発信できるようになる。</p>							
回数	日にち	授業計画・内容				テキスト	
1回目		(特別講義①)～オリエンテーション-何を学ぶのか、どのように効果的に学ぶのか～ 企業や現在の社会ニーズとしてオンライン(テレワーク)を導入されている企業も多く、オンラインとリアルとの融合をテーマにオンラインにて効果的に学習をすすめる為の方法について理解し、オンラインに対応できるようになる。皆さまとのラポール(心理的安全性)を創り出し、強いチームになる素地を築き上げます					
2回目		(気質学基礎知識①)4つのエネルギーの特徴について復習し、理解を深める					
3回目		(気質学基礎知識③)第4の扉の問題点と対処法を理解することができる					
4回目		(気質学基礎知識⑤)4つのエネルギーのタイプ別の相性と攻略法を理解することができる(2)					
5回目		(気質学基礎知識⑦)接客における4つのエネルギーのタイプ別の接し方を理解することができる(2)					
6回目		(特別講義②)～イントロダクション-なぜ学ぶのか、何を学ぶのか～ 企業人事に求められる人材になる為に必要なことを理解する質の高いコミュニケーション、場創りメソッドを理解することができるようになる					
7回目		(気質学基礎知識⑨)4つのエネルギーのタイプ別の指導の仕方・褒め方を理解することができる(2)					
8回目		(特別講義③)～主体性を作り出す～ 圧倒的な成果を創り出す為の「場創り」(意識・質の高いコミュニケーションを使えるようになる)を再現性高く生み出す知識・技術力が身につく、成果を出しやすい自分自身の習慣を理解することができるようになる					
9回目		(気質学基礎知識の応用②)4つのエネルギーの特徴を学び人間関係を円滑にする方法を理解することができる(2)					
10回目		(コアマネジメント基礎知識①)心理学的な脳の仕組みについて復習し、理解を深める(1)					
11回目		(コアマネジメント基礎知識③)自分自身の内面に意識を向ける方法を理解することができる					
12回目		(特別講義④)～ゴールイメージを思い描く～ チームが一丸となる 理念浸透の構造理解と圧倒的Vision構築ができるようになる					
13回目		(コアマネジメント基礎知識⑥)自分の内面とコミュニケーションをとって、自分自身を知ることができる(1)					
14回目		(特別講義⑤)～最優先事項を優先する～ 成果に繋がるリーダーシップと効果性の高い時間管理を理解し、使えるようになる					
15回目		前期授業内容の理解度確認と復習(1)ノ影響言語診断テスト					
評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。						
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・テスト演習50% 制作課題の提出率および完成度50%						
受講生へのメッセージ	ベーシックでの学びをさらに深め、影響言語も学ぶことで、コミュニケーションスキルが格段と上がります。社会人直前の準備として、様々な年代、様々なタイプの人に対応できるコミュニケーションスキルの習得はとても重要ですので、楽しく身に付けていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
・コアマネジメントアドバンス／一般社団法人国際ライセンスマネジメント機構 ・禁断の気質学							

授業シラバス

科目名 (英)	【コミュニケーション】 フォートロジー気質学 I Fortology I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	講義演習	時間数 (単位)	60 4	開講区分	曜日/時限
【担当教員 実務者経験】							
ブライダル企業を中心に、様々な企業に対する人材育成トレーニング歴15年、および部下指導歴20年の経験を持つ。井上は「禁断の気質学 フォートロジー®」の著者。							
【授業の学習内容】							
行動心理学のベーススキルを学ぶことで、問題解決の糸口を見つけることができる。それによって社会人としてのストレスフリーの環境を作り出すことは、学生が社会人になった時にとっても有効なスキルとなり得る。1年時に学んだスキルの理解を深めながら応用することで、脳の構造及び心理と自分自身のステイトマネジメントを学ぶ。							
【到達目標】							
<コアマネージメント>人による言葉の違いと効果的な使い方を理解し、相手の心にきちんと届く言葉を効率よく活用することができる <気質学>生まれ持っている人間の4つのエネルギーバランスから、人との接し方を理解し、「場に合わせた行動」を実践することができる							
回数	日にち	授業計画・内容				テキスト	
1回目		(オリエンテーション) 前期授業内容を説明し、学ぶ意義を理解することができる					
2回目		(気質学基礎知識②) 第1の扉と第2の扉の組み合わせにより、変化する特徴を理解することができる					
3回目		(気質学基礎知識④) 4つのエネルギーのタイプ別の相性と攻略法を理解することができる(1)					
4回目		(気質学基礎知識⑥) 接客における4つのエネルギーのタイプ別の接し方を理解することができる(1)					
5回目		気質学基礎知識①～⑦での授業内容の理解度の確認と復習					
6回目		(気質学基礎知識⑧) 4つのエネルギーのタイプ別の指導の仕方・褒め方を理解することができる(1)					
7回目		(気質学基礎知識⑩) 4つのエネルギーのタイプ別のノルマに対する反応を理解することができる					
8回目		(気質学基礎知識の応用①) 4つのエネルギーの特徴を学び人間関係を円滑にする方法を理解することができる(1)					
9回目		気質学基礎知識 前期授業内容の理解度の確認と復習					
10回目		(コアマネージメント基礎知識②) 心理学的な脳の仕組みについて復習し、理解を深める(2)					
11回目		(コアマネージメント基礎知識④) 情報の認識は自分の世界観であり、それが外的表現に現れることを理解することができる					
12回目		(コアマネージメント基礎知識⑤) 自分にとって良い助言者の存在や、スポンサーシップを理解することができる					
13回目		(コアマネージメント基礎知識⑦) 自分の内面とコミュニケーションをとって、自分自身を知ることができる(2)					
14回目		(コアマネージメント基礎知識⑧) 心理的に作用する言語の組み立て方を理解することができる					
15回目		授業内容の理解度確認と復習(2)					
評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。						
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40% とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・テスト演習50% ・制作課題の提出率および完成度50%						
受講生へのメッセージ	ベーシックでの学びをさらに深め、影響言語も学ぶことで、コミュニケーションスキルが格段と上がります。社会人直前の準備として、様々な年代、様々なタイプの人に対応できるコミュニケーションスキルの習得はとて重要ですので、楽しく身に付けていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
・コアマネージメントアドバンス／一般社団法人国際ライセンスマネジメント機構 ・禁断の気質学							

授業シラバス

科目名 (英)	【ホスピタリティヒューマンスキル】 キャリアプログラムⅢ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Career ProgramⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	
学科	ブライダル総合科				2	曜日/時限	
【担当教員、実務者経験】							
【授業の学習内容】							
ワークブックとテキストを使用しながら、コミュニケーションの技法を学んでいく。事前学習⇒演習⇒グループ討論⇒振り返りの順に行い、皆が取り組むようにする。							
【到達目標】							
コミュニケーション力をあげるため、様々なワークを行いながら"自分自身"・"対話相手"を考えて対応ができるようになる。またその学びから接客対応につなげていく。							

授業計画・内容	
1回目	【授業内容の説明】テキストとワークブックの使用説明、授業内容を説明し、この授業の目的を理解することができる。
2回目	【伝達ゲーム】言葉だけで伝えることの難しさを実感し、伝え方の見直しをすることができる。
3回目	【ブレインストーミング・KJ法①】前回の振り返りを行う。ブレインストーミングとKJ法を使い、グループ討論を実際に行っていく。
4回目	【ブレインストーミング・KJ法②】前回の振り返りを行う。ブレインストーミングとKJ法を使い、前回の技法の復習も含め、グループ討論を実際に行っていく。
5回目	【ブレインストーミング・KJ法③】前回の振り返りを行う。ブレインストーミングとKJ法を使い、前回の技法の復習も含め、付箋の使用無しでグループ討論を実際に行っていく。発表につなげることで、考え方は一つではないことを実感することができる。
6回目	【聞き上手の技法】自己紹介を行い、聞き方はどうだったかをお互いに評価し合うことで、相手の受け取り方、自分の態度を改めることができる。
7回目	【話し上手の技法】話し上手とはどのようなことをいうのか。グループワークを行い、「話し上手」の態度を探し出し、普通の自分と比べて態度を改めることができる。
8回目	【説得上手の技法①】説得はどのように行えば気持ちよく話を受け入れられる態度となるのかを考えながらグループワークを行うことができる。
9回目	【説得上手の技法②】前回の授業を振り返り、説得上手の姿勢で、他のグループを説得する「売り込みゲーム」を行い、どの姿勢が良かったのか検証することができる。
10回目	【読み上手①】技法を学び、文章をうまく読む方法をつかむことができる技法を学ぶ。
11回目	【読み上手②】技法を学んだ上で、課題を読み感想を記入する。以前の読み方とどのような変化があったか検証することができる。
12回目	【読み上手③】課題の感想「なぜそこに惹かれたのか」を発表し合い、様々な意見があり、読む人によって感じ取り方が異なることを理解することができる。
13回目	【自己PR①】ブレインストーミング・KJ法を振り返る。技法を使い、自己PRを考える。
14回目	【自己PR②】自己PRを行い、相手に「自分はどんな人間なのか」をテーマ付けて発表。相手の良いところを発見することができる。「自分が努力してきたこと」について次回までに考える。
15回目	【自己PR③】「自分が努力してきたこと」の課題について相手に発表し、良かったポイントを評価してもらい、授業の学びから自分の成長を発見することができる。
評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における 技術評価 は、以下の割合にておこなう。 ・最終課題評価 + ノート提出の仕上がり
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

授業シラバス

科目名 (英)	【ホスピタリティヒューマンズスキル】 キャリアプログラムⅣ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員
	Career ProgramⅣ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分
学科	ブライダル総合科				2	曜日/時限
【担当教員、実務者経験】						
【授業の学習内容】						
ワークブックとテキストを使用しながら、コミュニケーションの技法を学んでいく。事前学習⇒演習⇒グループ討論⇒振り返りの順に行い、皆が取り組むようにする。						
【到達目標】						
コミュニケーション力をあげるため、様々なワークを行いながら"自分自身"・"対話相手"を考えて対応ができるようになる。自己の見つめなおしと自己発見を行うことで、自分の強みと弱みを理解し、社会人に向けての課題を発見することができる。						

授業計画・内容	
1回目	【授業内容の説明】テキストとワークブックの使用説明、授業内容を説明し、この授業の目的を理解することができる。
2回目	【ブラインドワーク】五感を使い「ブラインドワーク」を行う。物事の伝え方をしっかりと考えて「相手に正しく伝える」ということを学ぶことができる。
3回目	【自分探しの技法①】自分史の年表の説明を行い、作成を行う。
4回目	【自分探しの技法②】自分史の作成を行う。自分史を使い、自分の過去と転機を見つめなおすことができる。また努力した事柄を発見することができる。
5回目	【インタビューの技法①】自分史を使いながら、相手に「自分らしさ」を発表する。インタビューを行い、「相手に質問する」ポイントを掴むことができる。
6回目	【インタビューの技法と他己紹介】インタビューの内容をうまくまとめ、他己紹介を行う。キャッチフレーズを付けて相手を紹介する方法を学ぶことができる。
7回目	【私とわたし①】自分がおもう自分と相手がみた自分の比較を行い、自分の新しい一面を発見することができる。
8回目	【私とわたし②】理想ゲームを行い、相手の「イメージ」と本当の相手を理解し、新しい一面を発見することができる。
9回目	【言葉ゲーム】自分の考えが相手にそのまま伝わるかどうか、ゲームを行い、その後検証することで「伝え方」の方法を見つめなおすことができる。
10回目	【質問ゲーム】手持ちのカードの中で誰が違うカードを持っているかを質問しながら探り合う。相手のしぐさや反応をしっかりと見て洞察力・思考力を高めることができる。
11回目	【グループディスカッション①】今まで学んだ技法を使用し、提示された課題に対してディスカッションを行い、意見をまとめることができる。
12回目	【グループディスカッション②】今まで学んだ技法を使用し、提示された課題に対してディスカッションを行い、意見をまとめることができる。
13回目	【グループディスカッション③】今まで学んだ技法を使用し、提示された課題に対してディスカッションを行い、意見をまとめることができる。
14回目	【何年後かの自分へ】今までの学びを通し、成長した自分をイメージしながら手紙を書くことで、目指す夢を再確認することができる。
15回目	【総まとめ】今までの学びを振り返り、初回授業からの成長を再確認することができる。
評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は、以下の割合にておこなう。 ・グループディスカッション3課題の取り組み姿勢
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

授業シラバス

科目名 (英)	【ホスピタリティマナー】 社会人即戦力Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員
	work-ready courseⅠ	授業 形態	講義演習	時間数 (単位)	30	開講区分
学科	ブライダル総合科				2	曜日/時限
【担当教員、実務者経験】						
株式会社キーエンスで西日本1位になった営業力を駆使し、希望企業から内定獲得させる「内定獲得塾」と内定者向けの社会人即戦力塾(プロ養成塾)を15年間主宰している						
【授業の学習内容】						
企業が求める社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を身につける。昨今、企業には新入社員を育てていける余裕がなく、企業はまさに即戦力を求めている。そのための社会人即戦力講座を行う						
【到達目標】						
いかなる問題や課題もチャンスと捉えらえるようになるだけでなく、自ら、問題解決できるようになる。また、分かち合い、助け合う、思いやりある人材を育てる。最後に社会人になる前に営業・販売の基礎を身に付け、実践できるようになる。						

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		(オリエンテーション)社会人即戦力とは何か?についてグランドルールを理解できるようになる。
2回目		社会人基礎力を身につけるための考え方～安楽の欲求と充実の欲求について学び、充実感ある社会人像とは何か知る
3回目		社会人になるために自立型姿勢を学ぶことで、ピンチをチャンスにする思考を得られる
4回目		「分かち合える人材」について学ぶことで、他喜力が得られる
5回目		映画:「今を生きる」から学ぶ～カーベディエム(今を生きる)、行動力を得られる
6回目		「時流の変化」の5つの変遷を用いて、時流力を得られる
7回目		不可能を可能にする5箇条である「充実体験」ワークを行うことで、不可能を可能にする思考を得られる
8回目		不可能を可能にする5箇条である「可能思考」について学び、不可能を可能にする思考を得られる
9回目		不可能を可能にする5箇条である「理想の一日」について学び、不可能を可能にする思考を得られる
10回目		不可能を可能にする5箇条である「one team」について学び、不可能を可能にする思考を得られる
11回目		「営業の5ステップ」を体系的に学ぶことで、営業力が得られる
12回目		「マーケティング」について学ぶことで、戦略的思考が得られる
13回目		「伝える⇒伝わる15箇条」を学ぶことで、伝達力が得られる
14回目		「伝える⇒伝わる15箇条」を活かしたプレゼンテーションを作成できるようになる
15回目		社会人になる前にどんな輝いた社会人になるかを発表し、ロールモデルを明確にする

評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・「課題提出と小テストの完成度」
受講生へのメッセージ	「はたらく」って本当に充実感があり、楽しい。そんなふうにならなりたいなら、ぜひ受講してください。また今後、考えて動くことはやめましょう。なぜなら、考えて動こうとすると考えすぎて、動けなくなるから。「動きながら考える」ことを習慣にしよう。一度しかない人生、人生を謳歌するか、しないかは、皆さん次第です。人生の中で一番長い時間を費やすと言われる「はたらく」という時間を充実感あるものにするための準備を、一緒にいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

授業シラバス

科目名 (英)	【マーケティングセールス】 イベントプランニング I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員
	Event Planning I	授業 形態	講義	時間数 (単位)	60 4	開講区分
学科	ブライダル総合科					曜日/時限
【担当教員、実務者経験】						
株式会社グレイス代表取締役。外資系金融機関勤務を経て、人を楽しませる仕事をしたいと、2015年創業で全く業界未経験ながら創業。独自のノウハウを蓄積し、現在は、大手商業施設からウェディング業界まで幅広くイベント業界に携わる。一部上場企業の大型イベントや地方公共団体・グランフロントなどのランドマークでの集客イベントなど幅広く受注。企画力・運営まで高い評価を得ています。						
【授業の学習内容】						
お客様のご予算からご要望をお聞きし、様々な提案や、代替案などをご案内し、企画から挙式まで日程を確認しながら無事、予算内でのプランニング・スケジュール内で開催できる運営スキルを身につける。授業では役割分担・情報共有・進捗管理の必要性と、グループワークでは実際にマーケティング・企画立案・制作・運営・実施まで行います。						
【到達目標】						
実行可能で独りよがりにならないで、かつ満足いただけるお客様のニーズのヒアリング能力を身につけます。また無理のないスケジュールに落とし込める力と実行力と、組織の中の自分の役割について認識し、全体の進行状況を俯瞰して把握ができる能力を身につけます。						

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		オリエンテーション・イベントプランニングとは何かを理解することができるようになる
2回目		お打ち合わせの重要性・お客様の本当のニーズを深掘りできるヒアリング能力を身につけることができるようになる
3回目		お客様のニーズをイメージし、予算・スケジュールを立てる。企画書を作成することができるようになる
4回目		プレゼン手法について学び、プレゼンを行いながら自分の企画の本意を伝えることができるようになる
5回目		プレゼン企画書から1部を採用し、実施に向けチームで役割分担を決める。想定される問題とその解決方法を共有することができるようになる
6回目		予算管理を確認し、制作を始める。企画内容のブラッシュアップを行う。チームのゴールとあるべき姿を共有することができるようになる
7回目		予算管理を確認し、制作を始める。企画内容のブラッシュアップを行うことができるようになる
8回目		予算管理を確認し、制作を始める。企画内容のブラッシュアップを行うことができるようになる
9回目		【中間レビュー】 PDCAサイクルのCA(チェック・アクション)についてチームミーティングを行い発表する。クライアントと問題点の共有や代替案の提案ができ軌道修正ができるようになる
10回目		【中間レビュー】 PDCAサイクルのCA(チェック・アクション)についてチームミーティングを行い発表する。クライアントと問題点の共有や代替案の提案ができ軌道修正ができるようになる
11回目		最終イベント実施に向けチームミーティング・最終ブラッシュアップを行う。チームワークを身につけることができるようになる
12回目		最終イベント実施に向けチームミーティング・最終ブラッシュアップを行う。チームワークを身につけることができるようになる
13回目		イベントを行う(チーム毎)・イベントの実施ができるようになる
14回目		イベントを行う(チーム毎)・イベントの実施ができるようになる
15回目		反省点を全体で話し合い、改善方法についてミーティングを行う。チームや組織での目指すべき姿とその中で自分のあるべき姿を改めて自覚できるようになる

評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・お客様の希望をどの様に捉え、企画を考えたのかをレポート評価する 10% ・チームの中での自分の役割分担と問題点・反省点と改善点についてレポート評価する 20% ・イベント全体について反省点をレポート評価する。10%
受講生へのメッセージ	イベントの企画・進行・運営の能力は、自己管理能力・スケジュール管理能力・コミュニケーション能力を最大限に鍛えることができます。また、自分の役割を全体の中で俯瞰して見つめ直すことができ、無意味な自己アピールで組織のゴールを阻害することのない組織人としての心構えを身につけることができ、社会に出た際の強みとなります。
【使用教科書・教材・参考書】	
筆記用具・PC(エクセル・ワード・パワーポイント・Googleアカウント)	

授業シラバス

科目名 (英)	【ブライダル基礎Ⅱ】 ブライダル応用Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Bridal Application I	授業 形態	講義	時間数 (単位)	60	開講区分	
学科	ブライダル総合科				4	曜日/時限	
【担当教員、実務者経験】							
神戸・沖縄でのウェディングプランナーを8年経験し約350組の結婚式を担当。その後、専門学校・短期大学においてブライダル業界で活躍できる人材育成に携わっている。							
【授業の学習内容】							
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会発行の『ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード』『ブライダル用語辞典』を使用し、ブライダル業界で活躍するうえで必要な基本的知識の修得を図るとともに、国家検定であるブライダルコーディネーター技能検定3級の取得を目指す。							
【到達目標】							
ブライダル業界で活躍するうえで必要な基本的知識を修得し、用語について説明することができるようになる。							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		・ガイダンス・ブライダルコーディネーター技能検定についての説明・過去問題に取り組む
2回目		・【ブライダルセールスの特徴】新規フォローについて理解し、実践できるようになる
3回目		・【成約業務】について学び、手続きについて説明することができる
4回目		・【ペーパーワーク】について学び、規約について説明することができる
5回目		・【打合せ業務】成約時から初回打合せまでの業務を理解し、説明できるようになる
6回目		・【打合せ業務】成約後の第1回目打合せの内容を理解し、説明できるようになる
7回目		・【打合せ業務】成約後の第2回目打合せの内容を理解し、説明できるようになる
8回目		・【打合せ業務】成約後の第3回打合せの業務内容を理解し、説明できるようになる
9回目		・【打合せ業務】当日までの一連の業務について理解し、説明できるようになる
10回目		・【衣装選定】婚礼衣装について学び、説明できるようになる *日本フォーマルのテキスト使用します
11回目		・過去問題を解く
12回目		・過去問題の解説
13回目		・【衣装選定】婚礼衣装について学び、説明できるようになる *日本フォーマルのテキスト使用します
14回目		・試験
15回目		・【ブーケ・フラワーアイテム】について学び、テーマに沿ってフラワーコーディネートできるようになる
評価基準		A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法		出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・過去問題20% ・筆記試験20%
受講生へのメッセージ		予習: 次回の内容について教科書およびワークブックに目を通しておくこと。 隔週の授業冒頭に『ブライダル用語辞典』の小テストを実施します。 復習: 授業内で解説した部分についてワークブックをまとめておくこと。
【使用教科書・教材・参考書】		
・ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ・ブライダル用語辞典 ・ブライダル基礎Ⅰ・Ⅱ ワークブック ・日本フォーマル協会テキスト(グリーン)		

授業シラバス

科目名 (英)	【ブライダルプロデュース】 ブライダルトータルプロデュース Bridal Total Produce	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	時間数 (単位)	30	開講区分	
					2	曜日/時限	

【担当教員、実務者経験】

フラワーコーディネーターとして㈱クリエイティブ阪急入社。ホテル阪急インターナショナル他ホテルウェディング・ゲストハウスウェディングを担当。お打ち合わせから製作、装飾に携わりながら、営業として、顧客管理、売り上げ、販売促進も担当する。国家検定フラワー装飾1級技能士・職業訓練指導員、色彩検定2級

【授業の学習内容】

ブライダルにおけるプランナーの重要性を知り、トータルプロデューサーとして必要なフラワー、ドレス、空間コーディネート力を身に付ける。

【到達目標】

お客様の求めているものを聞き出し、それを提案し、形にしていけるようになる。

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		オリエンテーション ウェディングプランナーのトータルプロデュースとは何かを理解する。必要なことと目的について理解できるようになる。
2回目		イメージを形にする力をつける。 実習/イメージカラーージュ お客様の要望(イメージ)を聞き出しカラーージュシートにしてご提案できるようになる。
3回目		お打ち合わせに大切なこと。 打合せの流れからポイント、話の聞き出し方と進め方。 聴く力とコミュニケーションの大切さを理解できるようになる。
4回目		トータルカラーコーディネート力をつける。 イメージとカラーの関係性を理解できるようになる。
5回目		配色のセオリー 色相・トーン・テクニクを理解し、コーディネートできるようになる。 実習/カラーカラーージュ
6回目		ドレス・カラーファッションの色使いを理解できるようになる。 実習/パーソナルチェックシートを使って相手の診断を行う。
7回目		ドレスとブーケの形のコーディネート 似合う形、色を知る。 実習/コーディネートカラーージュ ※事前に選んだドレスの写真をプリントアウトしておく
8回目		ヘアメイクとヘア飾りについて理解できるようになる。 実習/コーディネートカラーージュ
9回目		ブーケの持ち方やスタイリングについて理解できるようになる。挙式・披露宴での注意点など。
10回目		会場装飾について理解できるようになる。～インテリアカラーコーディネート～
11回目		会場装飾について理解できるようになる。 テーブルクロス、ペーパーアイテム、フラワーについて
12回目		会場装飾について理解できるようになる。 実習/テーブルアレンジを作る。
13回目		会場装飾コーディネート・トータルコーディネートを提案できるようになる。 実習/カラーージュシート完成させる
14回目		試験 筆記:聴く力と提案力とコーディネート力の理解度。実技:コーディネートカラーージュシート
15回目		コーディネート発表会 :コーディネートカラーージュシートを使ってプレゼンする。

評価基準

A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。
点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。

評価方法

出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40% とする。

受講生へのメッセージ

聴く力とそれを形にするコーディネート力は将来どの業界へ就職しても使える力・強味となります。社会に出ても自分の強みとなる力を身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具・色鉛筆(あると便利)、ノート、カラーカード

授業シラバス

科目名 (英)	【ブライダルプロデュース】 フラワーアクセサリコーディネート I Flower Accessories coordinate I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	講義演習	時間数 (単位)	30 2	開講区分	曜日/時限
【担当教員、実務者経験】							
フラワーコーディネーターとして(株)クリエイティブ阪急入社。ホテル阪急インターナショナル他ホテルウェディング・ゲストハウスウェディングを担当。お打ち合わせから製作、装飾に携わりながら、営業として、顧客管理、売り上げ、販売促進も担当する。国家検定フラワー装飾1級技能士・職業訓練指導員、色彩検定2級							
【授業の学習内容】							
ヘアードを中心にヘアメイクとコーディネートを身に付ける。トータルバランスコーディネートを身に付ける。							
【到達目標】							
お客様の求めているものを聞き出し、それを提案し、形にしていけるようになる。ヘアードの基本を製作できるようになる。							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		オリエンテーション ウェディングスタイリストとは何かを理解できるようになる。
2回目		お打ち合わせからイメージを形にできるようになる。【実習/イメージカラーージュ】お客様の要望(イメージ)を聞き出しカラーージュシートにご提案。①
3回目		お打ち合わせに大切なこと。打合せの流れからポイント、話の聞き出し方。聴く力とコミュニケーションの大切さを理解できるようになる。
4回目		トータルカラーコーディネートを付ける。イメージとカラーの関係を理解できるようになる。
5回目		配色のセオリー 色相・トーン・テクニクを理解し、コーディネートできるようになる。【実習/カラーカラーージュ】
6回目		似合う色となりたいスタイルについて【実習/パーソナルチェックシートを使って相手の診断ができるようになる。】
7回目		ドレス・ブーケ・ヘアードのコーディネートについて理解できるようになる。。ヘアードの種類とバランス【実習/コーディネートカラーージュ】
8回目		お打ち合わせからイメージを形にする力をつける。【実習/イメージカラーージュ】お客様の要望(イメージ)を聞き出しカラーージュシートにご提案できるようになる。②※事前に選らんでおいたドレスの写真をプリントアウトしておく。
9回目		ヘアード実習/ワイヤー加工について理解できるようになる。・ワイヤーリングとテーピング①
10回目		ヘアード実習/ワイヤー加工について理解できるようになる。・ワイヤーリングとテーピング②
11回目		ヘアード実習/アーティフィシャルフラワーを使ってヘアード製作できるようになる。①
12回目		ヘアード実習/アーティフィシャルフラワーを使ってヘアード製作できるようになる。② ※事前にマネキンにヘアースタイルを施し、製作したヘアードをあしらう。(撮影)
13回目		ヘアード実習/生花を使ってヘアード製作できるようになる。主要花材とワイヤーテクニク
14回目		試験 筆記:聴く力と提案力とコーディネート力の理解度。実技:ワイヤーとテーピングのテクニクチェック(筆記:80、実技:40)
15回目		コーディネート発表会 :コーディネートカラーージュシートを作成しプレゼンする。

評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。
受講生へのメッセージ	聴く力とそれを形にするコーディネート力は将来どの業界へ就職しても使える力・強味となります。社会に出ても自分の強みとなる力を身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】	
筆記用具・色鉛筆(あると便利)、ノート、カラーカード、マネキン、台	

授業シラバス

科目名 (英)	【ブライダルヘア・メイク】 ブライダルビューティー I	必修 選択	必須選択	年次	2	担当教員	
	Bridal beauty I	授業 形態	演習	時間数 (単位)	60	開講区分	
学科	ブライダル総合科				4	曜日/時限	

【担当教員、実務者経験】

フリーランスのヘア&メイクアップアーティストとして長年活動、講師業も行い現在に至る。JMA認定講師・JMAシェウウエムラ認定講師も兼任。
管理美容師免許、化粧品・ブライダル・エステティック・インナービューティなど経験と知識を持ち、美容業界の多方面からトータルビューティーアーティストとしての顔も持つ。

【授業の学習内容】

ブライダルやビューティに携わる上でお客様のニーズにこたえる事はもちろん、「似合わせる・短時間で仕上げる・TPOに応じたアレンジ力を持つ・お客様とのコミュニケーションを積極的に作れる」など必要とされているレベルは高くなっております。講義で知識を学び、実習で基礎の復習から応用力までを身につけます。

【到達目標】

知識・技術力を更にスキルアップし、イメージを捉える力をつけアレンジ力やスタイリング力を高め、ブライダルテーマに基づいたビューティーコーディネート制作ができるようになる。
ブライダルにおいてアシスタントレベルから携わる事の多いご列席者・ご参加者のヘアメイクスタイル、需要が高まっているメンズのヘアメイクスタイルができるようになる。

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		〈オリエンテーション〉・ブライダルヘアメイクについて、授業内容、目的を理解し目標設定できるようになる（準備物、道具確認をします 筆記用具必須）
2回目		〈技術・復習チェック〉・これまで学んだ技術や知識の確認、前回の授業にて行った目標設定とスキルアップの明確化が具体的にできるようになる
3回目		〈造形理論・イメージ理論〉 イメージ表現や似合わせにを習得し、個人に似合わせたバリエーションを考えることができるようになる。
4回目		〈イメージ理論・実技①〉 若々しいイメージスタイルを表現するための理論・実技（グループワーク）・列席者や参加者のヘアメイクができるようになる
5回目		〈イメージ理論・実技②〉 大人っぽいイメージスタイルを表現するための理論・実技（グループワーク）・列席者や参加者のヘアメイクができるようになる
6回目		〈イメージ理論・実技③〉 洋装イメージスタイルコーディネートをする（グループワーク）・列席者や参加者のヘアメイクができるようになる
7回目		〈イメージ理論・実技④〉 和装の若々しいスタイルを表現するための理論・実技（グループワーク）・列席者や参加者のヘアメイクができるようになる
8回目		〈イメージ理論・実技⑤〉 和装の大人っぽいスタイルを表現するための理論・実技（グループワーク）・列席者や参加者のヘアメイクができるようになる
9回目		〈イメージ理論・実技⑥〉 和装イメージスタイルコーディネートをする（モデル）・列席者や参加者の、のヘアメイクができるようになる
10回目		〈イメージ理論・実技⑦〉 メンズメイクの知識・技術（相モデル）・列席者や参加者の、のヘアメイクができるようになる
11回目		〈イメージ理論・実技⑧〉 メンズヘアの知識・技術（モデル）・列席者や参加者の、のヘアメイクができるようになる
12回目		〈トータルヘアメイクレッスン〉・試験テーマに基づいて各グループごと準備・練習をする・試験日はモデル有予定、時間+準備+技術の計画設定ができるようになる。
13回目		〈試験〉 試験課題① …テーマに基づく実技+シート作成
14回目		試験課題② …テーマに基づく実技+シート作成
15回目		〈トータルレッスン〉 まとめと、次へ向けて目的・目標を設定することができる ・道具のメンテナンス

評価基準

A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。
点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価（不合格）とする。

評価方法

出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。
なお、本授業においての技術評価は以下の割合にておこなう。
・試験 課題①実技40点 + デザインシート作成5点 + グループワーク5点
課題②実技40点 + デザインシート作成5点 + グループワーク5点 ①+②の合計100点とし 40%計算を行う。

受講生へのメッセージ

お客様に美を提供するうえでヘアメイク技術の技術は欠かせません。
授業ではヘアメイクを学びながら、コミュニケーション力を上げる・マナーを踏まえる・イメージに合わせ仕上げるなど様々な観点から習得し、幅広く役立つ内容にしております。ブライダル内容を組み込んでいるので、即実践型へつなげるメリットもあります。各回欠席することなくしっかりと取り組みましょう。
授業で使用する道具も多くあります、準備や片付けに時間を取りますのでスケジュールを考え早めの行動をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書・教材/ 適宜・プリント等配布予定
持参道具/ ヘア・メイク道具一式、筆記用具、A4ファイル
注意事項/ 相モデル、外部モデル・グループワーク授業と様々な形態で行います。お互い協力し取り組むこと。爪の長さやメンテナンスに注意する。 毎回必ず復習しておくこと。

授業シラバス

科目名 (英)	【トレンドビューティー】 トレンドビューティー I Trend beauty I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合	授業 形態	演習	時間数 (単位)	60 4	開講区分	
【担当教員_実務者経験】							
美容師としてサロン勤務を経たのち、ヘアメイク事務所へ所属。スチール、ドラマ、映画など様々な分野で活動中。							
【授業の学習内容】							
ヘアメイクにおけるTPOや知識を学ぶ。							
【到達目標】							
ヘアメイクの基本～応用ができるようになる。							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		ヘア 基礎 カラー巻き、ピン打ち、一束結び、逆毛、抱き合わせ、夜会巻きができるようになる。
2回目		ヘア 前回復習 相モデルにて夜会巻きをしてみよう、カールアイロン・ストレートアイロン
3回目		ヘア アレンジ①カールアップ、時短カールアップ、編み込みができるようになる。
4回目		ヘア アレンジ②ハーフアップ、ゆるふわアレンジ、フィッシュボーンができるようになる。
5回目		メイク ベーシックメイクができるようになる。相モデル
6回目		メイク イメージメイクができるようになる。①キュート、エレガント、相モデル
7回目		メイク イメージメイクができるようになる。②フレッシュ、クール、相モデル
8回目		ヘア 和装ヘアができるようになる。
9回目		ヘア 和装ヘア復習 相モデル
10回目		メイク 花嫁メイクができるようになる。洋装・和装
11回目		メイク 骨格メイク・外国人風メイクができるようになる。
12回目		ヘア アレンジができるようになる。③お団子アレンジ
13回目		ヘア 相モデルにてヘアアレンジができるようになる。
14回目		実技試験
15回目		試験予備日・総復習

評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・テスト演習100%
受講生へのメッセージ	ヘアメイクの楽しさ、身だしなみをしっかり学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

授業シラバス

科目名 (英)	【トレンドビューティー】 ネイル基礎	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
	Nail I	授業 形態	演習	時間数 (単位)	60	開講区分	
学科	ブライダル総合科				4	曜日/時限	
【担当教員 実務者経験】							
ネイルサロン勤務を経て、独立。サロンワークでお客様に喜んで頂けるようネイルのご提をメインに、ネイル講師としての活動や企業との活動をしている。映画や舞台の主演女優の担当や、神戸コレクションなどのイベントでも活躍。めまぐるしく更新されていくネイル業界にて日々勉強中。							
【授業の学習内容】							
基礎知識(座学)と、ケア・カラーリング・ネイルアート(実技)を学ぶ。							
【到達目標】							
JNECネイルリスト技能検定3級取得 基本的なネイル器具の使い方をマスターし、3級レベルの技術と知識を身につける。							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		(オリエンテーション)ネイルとは？を知る！ネイルケア道具と名称を知る。基本のセッティングとウッドスティックの仕込みが出来るようになる
2回目		(ケア基礎の習得①)手指消毒、カラーオフが出来るようになる / 座学
3回目		(ケア基礎の習得②)ファイリングが出来るようになる / 座学
4回目		(ケア基礎の習得③)プッシャー、ガーゼ&ニッパーが出来るようになる / 座学
5回目		(ケア基礎の習得④)カラーリングが出来るようになる / 座学
6回目		(ケア基礎の習得⑤)アートが出来るようになる / 座学
7回目		(ケア応用の習得)ハンドマッサージとパラフィンパックが出来るようになる
8回目		(ケア基礎)上記①～⑤の通しレッスンで手順を覚える
9回目		(ケア基礎)上記①～⑤の通しレッスンで理解度確認。苦手分野を克服出来るようになる！
10回目		(ケア応用の習得)パフリングが出来るようになる、夏向けアートが出来るようになる
11回目		(ケア基礎)上記①～⑤のまとめ復習。タイムトライアルに挑戦！「時間内に、完成する」が出来るようになる！
12回目		(ケア基礎)上記①～④のまとめ復習。タイムトライアルに挑戦！「時間内に、完成度高く」が出来るようになる！
13回目		(ケア基礎)上記①～④のまとめ復習。タイムトライアルに挑戦！「時間内に、より完成度高く」が出来るようになる！
14回目		(期末試験)ケア基礎①～⑤の実技タイムトライアル、筆記テスト(実技・筆記共に3級検定試験の内容)
15回目		(総まとめ)期末試験のフィードバック。これを元に3級試験対策。検定のポイントや注意事項等を得得する。
評価基準		A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法		出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・期末試験 実技50% ・期末試験 筆記40% ・授業態度 10%
受講生へのメッセージ		ネイルは体の中でほんの小さな一部ですが、爪を見ただけで健康状態がわかったり、物を掴んだり、歩いたりするためには、爪が大きな役割を果たしていることを知っていますか？ネイルの正しい知識と技術をしっかり習得し、役立ててください。 前期は、JNECネイルリスト技能検定3級を目指した内容です。まずはネイルの基礎から一緒に学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】		
JNAテクニカルシステムベーシック		
【毎授業持つてくるもの】		
筆記用具、ノート、ビニール袋、セロテープ、キッチンペーパー、ネイル教材一式、教科書(JNAテクニカルシステムベーシック)		

授業シラバス

科目名 (英)	【トータルビューティー】 エステティック基礎Ⅰ	必修 選択	必須選択	年次	2	担当教員	
	Basic esthetic I	授業 形態	講義演習	時間数 (単位)	60	開講区分	
学科	ブライダル総合科				4	曜日/時限	

【担当教員 実務者経験】

大手エステティックサロンに約5年勤務。その後美容専門学校の講師として、理論や実習、サロンワーク、就職の授業を担当。

【授業の学習内容】

ブライダルエステについて学ぶ。また自分自身を健康的に美しくするための知識と技術を身につける。

【到達目標】

・ブライダルエステの知識を習得し、お客様にご提案出来る知識と経験が身につく。・エステティックの知識を身につけ、自分自身が健康でキレイになる。

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		【オリエンテーション】ブライダルエステについて理解出来るようになる。
2回目		【美肌について①】美肌について、美肌ケアの基本が理解できるようになる。
3回目		【美肌について②】美肌ケアの基本「運動と食事」について理解できるようになる。
4回目		【美肌について③】皮膚のしくみと働きについて理解できるようになる。
5回目		【美肌について④】肌トラブルとお手入れ方法について理解できるようになる。/正しいお手入れ技術を習得できる。
6回目		【美肌について⑤】美肌と関わりが深い4大ホルモンについて理解できるようになる。
7回目		【美肌について⑥】美肌を邪魔する4つの大敵について理解できるようになる。
8回目		【美肌について⑦】美肌ケアの第一歩「スキンケア」について理解できるようになる。/クレンジングの種類を理解できるようになる。
9回目		【美肌について⑧】化粧品の基本の使い方と選び方について理解できるようになる。
10回目		【フェイシャル実習】フェイシャルマッサージについて理解できるようになる。/セルフ小顔マッサージの仕方を習得できる。
11回目		【ボディ実習】ボディマッサージについて理解できるようになる。/セルフフットマッサージの仕方を習得できる。
12回目		試験対策
13回目		試験
14回目		【フェイシャル実習】フェイシャルトリートメント技術を人に出来るようになる。→自由研究レポートまとめ
15回目		【ボディ実習】ボディトリートメント技術を人に出来るようになる。→レポートに対しての共有、深堀。
評価基準		A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法		出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・筆記試験100%
受講生へのメッセージ		ブライダルエステの知識を身につけながら、一緒に自分自身の綺麗も磨いていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】		
美肌検定テキスト、ノート、筆記用具		

授業シラバス

科目名 (英)	【ドレスコーディネーター】 ドレススタイリストⅠ Dress Stylist I	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	曜日/時限
【担当教員 実務者経歴】							
1987年オートクチュールを学びドレス業界に関わり、1995. 9～2012. 10迄東京某大手デパートのブライダル部門に所属し桂 由美プレタクチュールサロン初め婚礼や結納等のプロデュース・プランニング・ドレスの企画・デザイン等多岐に携わる。その間芸能人や女性アナウンサーを含め約1000相余りの婚礼を担当する。							
【授業の学習内容】							
日本の伝統文化「しきたり」を学ぶことで「日本のおもてなしの心」を知る。この心により人間関係・コミュニケーション能力が養われる。「おもてなしの心」をより深く理解し衣裳の基礎知識を学ぶことは、接客力や応用力が強化される							
【到達目標】							
ブライダル業界の現状とノウハウ、ブライダル(衣裳・接客)の専門知識を学びます。其の学びは様々な角度から幅広くスタイリストとして自信を持つことが出来る。お客様に相応しい最善のご提案が出来る接客員を目指します。							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		ドレスの基礎知識 実技① インナーは何故必要か 採寸を学び自分の体型を知る
2回目		ドレスの基礎知識 実技②(予備日) ドレススタイリストの心構え (プレゼンテーションとは) 相手の心を知る
3回目		ドレスの基礎知識 ドレスとは・ドレスの基本ラインを学ぶことで知識が深まる
4回目		ドレスの基礎知識 実技③ インナーを着けてドレス試着、より知識が更に深まる
5回目		ドレスの基礎知識 実技④ インナーを着けてドレス試着、より知識が更に深まる
6回目		衣裳の基礎知識 メンズの衣裳を学ぶことでドレスとのバランスを知る
7回目		試験 予定
8回目		衣裳の基礎知識 T・P・O (ドレスコード)に付いて学ぶことで洋装の歴史や西洋の文化を学ぶ
9回目		(目的と目標設定) 前期授業の目的を理解し、自分の現状の課題の把握から前期授業での目標を設定し発表することができる
10回目		(業界の現状と仕組み) 業界の現状や仕組み、トレンドやドレスの多様化、来店と施行までの流れと接客以外の仕事を理解する
11回目		(接客員の役割) 接客員の役割と購買心理を理解する。好きな接客・嫌いな接客について、グループワーク考え発表し、お客様の気持ちを理解する
12回目		(接客カウンセリング実践) 接客員役、お客様役になってカウンセリングのロールプレイングをし、コミュニケーションを体感する
13回目		(まとめ) 前期学びの復習と目標の達成度を確認して自分の変化に気付く。接客カウンセリングを実践し、試験の準備をする
14回目		(試験) 実技(接客カウンセリングのロールプレイングでコミュニケーションの習得状況を確認する)
15回目		総まとめ
評価基準		A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法		出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ◎テスト演習10% ◎演習課題(名刺、ロゴ、チラシ)の完成度各30%合計90%
受講生へのメッセージ		しきたりの「婿」とは人生での通過儀礼の一つである。新郎新婦にとり最高の至福の時であり、唯一自身が認識し築けるのが「婿」という儀礼です。結婚式は人生で最大のセレモニーです。婚礼に携わる者として向き合うのではなく、お二人に寄り添い、お二人らしい最善の結婚式をご提案する。心からご満足し喜んで頂けた時、最大の達成感にひたれるのです。ブライダルを仕事と選択して良かったと確信いたします。大変ではありますが、遺り甲斐のある仕事です。
使用教科書・教材・参考書 講師作成テキスト・参考文献(全日本ブライダル協会資料・日本フォーマル協会資料)		

授業シラバス

科目名 (英)	【ドレスコーディネーター】 ドレススタイリストⅣ	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
	Dress stylistⅣ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	
学科	ブライダル総合科				4	曜日/時限	
【担当教員 実務者経験】							
1987年オートクチュールを学びドレス業界に関わり、1995.9～2012.10迄東京某大手デパートのブライダル部門に所属し桂 由美プレタクチュールサロン初め婚礼衣装や結納等のプロデュース・プランニング・ドレスの企画・デザイン等多岐に携わる。その間芸能人や女性アナウンサーを含め約1000組余りの婚礼を担当する。							
【授業の学習内容】							
日本の伝統文化「しきたり」を学ぶことで「日本のおもてなしの心」を知る。この心により人間関係・コミュニケーション能力が養われる。「おもてなしの心」をより深く理解し衣装の基礎知識を学んでいくことは、接客力や応用力が強化される							
【到達目標】							
ブライダル業界の現状とノウハウ、ブライダル(衣装・接客)の専門知識を学びます。其の学びは様々な角度から幅広くスタイリストとして自信を持つことが出来る。お客様に相応しい最善のご提案が出来る接客員を目指します。							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		衣装の基礎知識 ドレスの選び方を学びお客様への提案の仕方を考える。
2回目		衣装の基礎知識 縫い方(基礎縫い・部分縫い)・用具(糸・針・マチ針・ハサミ)を学びより衣装を知る。
3回目		衣装の基礎知識 々
4回目		衣装の基礎知識 ドレスのお直し実際にお直しをやってみることで自信がつく。
5回目		衣装の基礎知識 々
6回目		衣装の基礎知識 メンズの衣装のお直しを学び衣装全般の知識が深まる。
7回目		衣装の基礎知識 々
8回目		衣装の基礎知識 アレンジやコーディネートにより、ドレスの知識が深く理解できる。
9回目		衣装の基礎知識 々
10回目		衣装の基礎知識 ドレスを着てアテンドの仕方・ターン・トレーンのさばき方を学び、知識が深まる。
11回目		衣装の基礎知識 々
12回目		衣装の基礎知識 結納の知識を知ることによって日本の伝統文化を学びブライダル業界職種の奥深さを再認識することができる。
13回目		衣装の基礎知識 試験予定
14回目		衣装の基礎知識 試験のアウトプット
15回目		衣装の基礎知識 ドレスコーディネーター(花嫁を完成させる)

評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・レポート提出・内容100%
受講生へのメッセージ	しきたりの「婚」とは人生での通過儀礼の一つである。新郎新婦にとり最高の至福の時であり、唯一自身が認識し楽しめるのが「婚」という儀礼です。結婚式は人生で最大のセレモニーです。婚礼に携わる者として向き合うのではなく、お二人に寄り添い、お二人らしい最善の結婚式をご提案する。心からご満足し喜んで頂けた時、最大の達成感にひたれるのです。ブライダルを仕事と選択して良かったと確信いたします。大変ではありますが、遣り甲斐のある仕事です。
使用教科書・教材・参考書	講師作成テキスト・参考文献(全日本ブライダル協会資料・日本フォーマル協会資料)

授業シラバス

科目名 (英)	【写真映像演出】 テクニカルフォトワークⅠ Technical photo work I	必修 選択	必須選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	演習	時間数 (単位)	30 2	開講区分	曜日/時限
【担当教員、実務者経歴】							
写真スタジオに勤務。ブライダル施設の写真担当責任者として、撮影・接客・スタッフ育成に取り組む。大阪・横浜・福岡・鹿児島など、全国の婚礼施設を経験。							
【授業の学習内容】							
一眼レフカメラの操作を実習。写真撮影に関する知識やレンズの選択など、基本から応用までを学ぶ。 また、ブライダル撮影に必要なコミュニケーションや気配り・立ち振る舞いを身に付ける。							
【到達目標】							
一眼レフカメラの操作方法を取得。シチュエーションに合わせた撮影が出来るようになる。 今よりも写真が好きになる。							
回数	日にち	授業計画・内容					
1回目		(基礎講義①)一眼レフカメラの基礎。使用注意点や操作方法を学ぶ。					
2回目		(基礎講義②)一眼レフカメラでの撮影を実践。露出の合わせ方を学ぶ。様々な環境で、適正な露出にて撮影出来るようになる。					
3回目		(構図)ブライダルの撮影からさまざまな構図を知り、意図した構図で撮影ができるようになる。					
4回目		(ライティング①)ライティングの基本を学ぶ。					
5回目		(スタジオワーク)スタジオでのライティング撮影。証明写真などの基本ライティングや撮影のポイントを知りポートレート撮影ができるようになる。					
6回目		(ライティング②)自然光でのライティング。レフ板を使用する意図を学ぶ。					
7回目		(ロケーション撮影)公園や屋上にて、自然光ライティング・構図を考え意図したものが撮影出来るようになる。					
8回目		(レンズワーク)レンズの違いを学ぶ。望遠・標準・広角の違いを知る。撮影意図に合わせたレンズの選択が出来るようになる。					
9回目		(撮影コーディネート)イメージに合わせたスタイリングや視覚効果を意識し、より効果的な撮影表現ができるようになる。					
10回目		(作品撮り①)静物撮影 プランニング・撮影					
11回目		(作品撮り①)静物撮影 撮影・提出					
12回目		(作品撮り②)人物撮影 プランニング・撮影					
13回目		(作品撮り②)人物撮影 撮影・提出					
14回目		(作品選定)					
15回目		合評					
評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。						
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・作品提出50% ・作品技術50%						
受講生へのメッセージ	「一眼レフカメラに興味はあるけど、なんだか難しそう」という気持ちをお持ちの皆さん！ 全15回の授業を通じてカメラの操作はもちろん、撮影のテクニックやコミュニケーション方法を体感していただけます。 これからの人生がよりいっそう楽しくなる写真撮影を、皆さんにお伝えします。						
【使用教科書・教材・参考書】							
SDカードを各自で準備すること。授業前に図書室でカメラを借りること。							

授業シラバス

科目名 (英)	【日本の伝統文化】 花嫁きもの文化 Bride Kimono Culture	必修 選択	必須選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	演習	時間数 (単位)	30 2	開講区分	
【担当教員、実務者経験】							
1985年より婚礼和装、CM撮影、雑誌の和装着付を行う(神戸M2)同時に講師業、2003年チームいまなかとして10名のスタッフと共に婚礼着付け等。2013年に1級着付け技能士を取得。							
【授業の学習内容】							
和装婚の知識と花嫁着付けの実技							
【到達目標】							
簡易衣装ではあるものの、花嫁着付けが出来るよう実技を習得する							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		オリエンテーション 列席の和装 留袖の知識と花嫁着付けの準備と説明ができるようになる
2回目		花嫁着付け① 半襟袖までの説明と実技ができるようになる
3回目		花嫁着付け② 掛下までの説明と実技ができるようになる
4回目		新郎和装 紋付袴の知識と袴の着装実技ができるようになる
5回目		花嫁かつら かつらの説明と実技ができるようになる
6回目		花嫁着付け③ 掛下帯までの実技ができるようになる
7回目		
8回目		花嫁着付け④ 打掛を着装しての実技ができるようになる
9回目		
10回目		花嫁着付け⑤ 打掛を着装しての実技ができるようになる
11回目		
12回目		講義と実技テスト 今までの知識や筆記試験の為の復習を通して花嫁着付について理解する
13回目		
14回目		実技テストと筆記テスト
15回目		総まとめ
評価基準		A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法		出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40% とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・技術評価50% ・筆記試験50%
受講生へのメッセージ		まずは授業に出席していただき、和装に興味を持ってほしい。 配布したプリントは目を通し授業内容を把握、知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】		

授業シラバス

科目名 (英)	【日本の伝統文化】 華道 I flower arrangement I	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	演習	時間数 (単位)	30 2	開講区分	曜日/時限

【担当教員 実務者経験】

生花店勤務・花の総合会社ウェディング部門を経て、現在はスクール部門でレッスンデザイン・講師を務める。花職向上委員会会員。同委員会編の書籍出版(誠文堂新光社)に作品提供。生け花・フラワーアレンジメントなど花の装飾全般を研究中。2017年、手作りコサージュ展「森のアトリエ」個展開催。

【授業の学習内容】

生け花の基礎を学ぶ。(道具の使い方、生け花の歴史、フラワーアレンジメントとの違い、色合わせや花合わせについて、場の演出について、行事と花についてなど。)
生け花の成り立ちを通して、日本人が「自然」とどのように関わってきたかを学ぶ。生け花の歴史を探ると、日本人のものの考え方や精神性は「自然」が大きく関連していることが分かる。それを自覚することは今後の個人の大きな礎になると思われる。

【到達目標】

生け花を通じて、日本理解を深める。
花でもてなす楽しさを感じ、空間演出に際して花が重要であるという感性を身につける。
基礎的な「生け花」ができるようになり、花を通じて日本を語れるようになる。

回数	日にち	授業計画・内容	
1回目		(オリエンテーション)レポートの書き方①免状取得について。 ハサミ・剣山の使い方、生け花についての概要を知る。	【自由花実習】
2回目		(オリエンテーション)レポートの書き方②デッサン 簡潔なデッサンでデザインを他者に伝えられるようになる。	【自由花実習】
3回目		(オリエンテーション)レポートの書き方③レポートの書き方補足指導 「よくわかる池坊いけばな」DVD鑑賞 更に生け花についての理解を深める。	【自由花実習】
4回目		(植物の扱い①)水揚げ法 植物を大切に扱う方法を学ぶ。	【自由花実習】
5回目		(植物の扱い②)矯める方法 植物の動きを生かす技を習得する。	【自由花実習】
6回目		(作品鑑賞①)教科書の作例を観る 縦・横・斜めの作品の違いが分かるようになる	【自由花実習】
7回目		(作品鑑賞②)教科書の作例を観る 様々な表現方法を知る。	【自由花実習】
8回目		(生け花の歴史①)立花・生花・自由花について、それぞれの違いが分かるようになる。	【自由花実習】
9回目		(生け花の歴史②)生け花の始まり、歴史を知る。	【自由花実習】
10回目		(花の文化①)日本人の自然観について日本人の自然に対する感じ方を生け花の歴史から学ぶ。	【自由花実習】
11回目		(花の文化②)日本人と西洋人 それぞれの文化を比較し、花文化の違いを認識することで異文化理解ができるようになる。	【自由花実習】
12回目		(花の文化③)生け花とフラワーアレンジメントの違い それぞれの違いが理解できるようになる。	【自由花実習】
13回目		(花のコーディネート①)季節感、色合わせ、花合わせについて ハーモニーの重要性を理解する。	【自由花実習】
14回目		(花のコーディネート②)場の演出について 花を用いた空間演出の作例を鑑賞し、空間装飾の感性を養う。	【自由花実習】
15回目		(花のコーディネート③)行事と花について。花と行事の関わりを知り、花でおもてなしができるような感性を養う。	【自由花実習】

評価基準

A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。
点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。

評価方法

出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。
なお、本授業においての技術評価は以下の割合にておこなう。

- ・各回のレポート 90% (レポートの内容 + 完成度をもって理解度とする)
- ・各回の実技演習 10%

受講生へのメッセージ

花・茎・枝の状態は1本1本違います。その違いを鑑賞し、その個性を楽しみましょう。
植物は命あるもの、大切に扱ってください。 お花は必ず持ち帰りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

いけばな池坊 自由花入門カリキュラム お稽古ノート → 学校より貸出 (都度返却要)

授業シラバス

科目名 (英)	【フラワーコーディネーター】 フラワー装飾技能士Ⅰ Flower decorative technician Ⅰ	必修 選択	必須選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	曜日/時限
【担当教員・実務者経歴】							
国家検定1級フラワー装飾技能士。大阪府知事認定職業訓練指導員を有し技能グランプリ、フラワーマスターズの賞歴を持つ							
【授業の学習内容】							
フラワー装飾技能検定3級課題を基礎としてブライダルフラワーに関する初歩的な日納を学習する							
【到達目標】							
フラワーアレンジメントに関する花材、資材の取扱いとその技能・知識を身に付ける							
回数	日にち	授業計画・内容					
1回目		(オリエンテーション)課題1リボン、課題3ブートニアの復習					
2回目		(直線構成)パーティカルアレンジの構成を理解し#18セキュアリングが出来るようになる					
3回目		(直線構成)トライアングラーアレンジの構成にステップアップして配列バランスが出来るようになる					
4回目		(直線構成)レシェイプアレンジの構成にステップアップして応用が出来るようになる					
5回目		(直線構成)トライアングラーアレンジの構成の薬物と小花の配置を学び直線構成を完成させる					
6回目		(ドームアレンジ)課題2の構成を復習してドームアレンジを完成させる					
7回目		(フェザリング)カーネーションを等分に切り分け、#26でワイヤリングするスキルを覚える					
8回目		(ラウンドコサージュ)フェザリングした花に薬物を加えてステップアップ、ラウンドのコサージュを完成させる					
9回目		(ワイヤリング)各ワイヤリングのスキルを覚えてブートニアを完成させる+(学科)					
10回目		(水平構成)高砂席の基礎となる水平構成の片面基礎配列を学ぶ+(学科)					
11回目		(水平構成)片面よりステップアップして薬物、小花を配置して両面を完成させる+(学科)					
12回目		(水平構成)応用の配列でスプレーシェイププレゼンテーションを完成させる+(学科)					
13回目		(花束)課題1の復習+(学科)					
14回目		試験(学科、実技)					
15回目		(花束とラッピング)課題1をスキルアップして自由にシュトラウスを組み贈呈用花束を完成させる					
評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。						
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・学科試験 ・実技試験						
受講生へのメッセージ	3級の検定課題を基礎としてブライダルフラワーに関連する内容に移行します。授業内容は運動して進みますので休まず出席して下さい！！						
【使用教科書・教材・参考書】							

授業シラバス

科目名 (英)	【外国語Ⅱ】 イングリッシュコミュニケーションⅠ English Communication I	必修 選択	必須選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	講義	時間数 (単位)	30	開講区分	
					2	曜日/時限	

【担当教員・実務者経験】

アメリカ州立大学にてトップの成績を修めたのち帰国し、社長秘書通訳を経て、1998年～現在まで英会話スクール『株式会社めりーらんど』を運営。0歳から70歳まで、延べ数千人の英会話習得に従事。英会話スクール運営業務以外にも、各企業や教育機関、団体(自動車メーカーや大学など)で同時通訳をこなす。

【授業の学習内容】

- ①昨年度使用したRock Phonicsを発音教材として使用し、綺麗に発音できるようになることで自信をつける。
- ②テーマについて、自分の考えや意見をまとめ、それを英語で言えるようにする。
例)好きな「Food」は何か? それは何故か?
- ③海外のウェディングシーンのドラマや映画を見てディクテーション(聞き取り⇒書き取り)をし、を日本語に訳してみ、同時に海外文化を体感する。
- ④実践で使える英会話フレーズ(特にブライダル英語)を学習し、使いこなせるようになる。
- ⑤各自に動画プロジェクト(日本案内:例)茶道・相撲・京都などを、2分～4分の長さ)を制作してもらい、クラス内で発表します。
- ⑥最低限必要な文法知識(中学校3年生までに習う文法)を完璧に近い状態まで仕上げ、英会話力に繋げる。

【到達目標】

初歩的英文法を理解し、基本的なフレーズを使った対話ができるようにすることで英語に対する苦手意識を取り除く事を第一目標とする。
様々なテーマに対し、自分の考えや意見を英語で「思考」と「発言」できるようになり、さらに接客業務を想定した対話演習を行うことで、英語を通して成功体験を体感し、社会に出て業務に従事する際にも実践で使える英会話フレーズが使えるようにする。

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		オリエンテーション・講師自己紹介・各自自己紹介・課題の説明をおこなう。
2回目		「Food」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、レストラン英会話ができるようになる。
3回目		「Japan」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、英語で日本文化の説明ができるようになる。
4回目		「Shopping」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、買い物英会話ができるようになる。
5回目		ブライダルイングリッシュ①『電話応対・式場案内』の対話練習をし、実践フレーズの知識を覚えることができる。
6回目		「Music」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、英語で日本文化の説明ができるようになる。
7回目		「Transportation」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、英語で道案内ができるようになる。
8回目		「The salaryman and work」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、英語で日本文化の説明ができるようになる。
9回目		ブライダルイングリッシュ②『神式・人前式・教会式』の対話練習をし、実践フレーズの知識を覚えることができる。
10回目		「Family」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、英語で自分の紹介ができるようになる。
11回目		「Travel」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、基本の旅行英会話ができるようになる。
12回目		「Europe」をテーマに、発音・単語・文法・英会話トレーニングを行うことで、英語で海外文化の会話ができるようになる。
13回目		ブライダルイングリッシュ③『ブライダル接遇英語』の対話練習をし、実践フレーズの知識を覚えることができる。
14回目		試験
15回目		試験返却・答え合わせ・前期講義の振り返り。ポットラックパーティー。

評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
------	---

評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ◎授業参加貢献度10% ◎課題(英語で日本案内)の完成度40% ◎試験40%
------	---

受講生へのメッセージ	お仕事に役立つだけでなく、海外旅行や外国の人達と気軽にコミュニケーションを取れることを目指します。 欧米人は日本人と違って「自己主張が強い」と思われがちですが、それは自分の「考え方」や「意見」をしっかり持っているからです。 この講座では外国の人達と軽くディスカッションが出来る程度の「思考力」と「英語力」を身につけていただければと思っています。
------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

Rock Phonics(導入テキスト)
【参考図書】*購入の必要なし
Let's Talk About It (PEARSON Longman) おもてなしの基礎英語 上下巻(NHK出版)

授業シラバス

科目名 (英)	【ウェディングプロジェクト】 トータルスタイリングビューティー I	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
	Total styling beauty I	授業 形態	演習	時間数 (単位)	60	開講区分	
学科	ブライダル総合科				4	曜日/時限	

【担当教員 実務者経験】

アーティストブランド(化粧品会社)での勤務を経て、その経験や色彩・メイクの知識を生かし講師となる。
JMA認定講師、シウウエムラ認定講師、AFT認定色彩講師。

【授業の学習内容】

ヘアメイク、色彩、スタイリング、カラーコーディネートなどドレススタイリストやヘアメイクアーティストに必要な知識、技術を学習する。
1年を通し、ビューティーショーやビューティーサロン、スタイリング制作&撮影などの活動を行う。また、1年間の集大成として『WeAreJSH』にて作品を展示し、ビューティーショーを開催する。

【到達目標】

幅広い現場で活躍できるスタイリストやアーティストとして必要なメイクアップの知識と技術の向上を図り、
"美"を提供するプロとして必要なマナーや身だしなみ、立ち居振る舞いを身に着ける。
様々なお客様に対応でき、様々なシーンやイメージ表現で必要なヘアメイク、カラーコーディネート、スタイリングができるようになる。

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		(オリエンテーション)1年間を通し、この授業で何を勉強し何が身につくかが分かる シラバス確認、1年間の活動確認、使用教材の確認
2回目		(ベースメイク①、ポイントメイク②)新たな手技のメイクができるようになる ・クレンジングローション、スキンケア ケア、パウダーFD、FDブラシ、アイブロウ、アイメイク ・3分間スピーチ『今の悩み、皆に相談したいこと』※ 以降7/1まで同テーマ
3回目		(色を知る①/座学)色彩の基礎が分かるようになる ・色相(色相環、補色、三原色など)、色やトーンが持つイメージ、配色 ・3分間スピーチ
4回目		(イメージメイク理論)イメージに合わせたメイクが分かるようになる ・メイク4大イメージ ・メイクの強弱とイメージ ・6/17『休日メイク』考案 ・クレンジング〜ベースメイク(FDハンドテクニック)
5回目		(ベースメイク②、イメージメイク①『休日メイク』)様々な手技やメイクができるようになる ・ツヤ肌 ・FD&FPDブラシテクニック ・7/8『お仕事メイク』考案 ・考案してきた『休日メイク/ロマンチック・フレッシュ』のポイントメイク
6回目		(色を知る②/座学)色彩の基礎、トレンドカラーが分かるようになる ・小テスト① ・色の錯覚、見えやすさや色、配色、トレンドカラー ・7/29『トレンドカラーメイク』考案
7回目		(イメージメイク②モダンメイク)様々な手技やメイクができるようになる ・スモーキーアイ ・アイブロウ考案 ・落ちにくいリップメイク
8回目		(ベースメイク④、イメージメイク③『お仕事メイク』)様々な手技やメイクができるようになる ・FDブラシテクニック ・8/5『パーティーメイク』考案 ・考案してきた『お仕事メイク/マニッシュ』のポイントメイク ・3分間スピーチ『ビューティー(美容、メイク、化粧品)に関すること』 ※以降9/2まで同テーマ
9回目		(ショーメイク)ショーメイクができるようになる ・小テスト② ・ショーヘアメイク&イメージ考案 ・メイク練習
10回目		(ベースメイク⑤、トレンドカラーメイク)様々な手技やメイクができるようになる ・ツヤ肌 ・FDハンドテクニック ・考案してきた『トレンドカラーメイク』のポイントメイク
11回目		(イメージメイク④『パーティーメイク』)様々な手技やメイクができるようになる ・ベースメイク ・考案してきた『パーティーメイク/エレガント』のポイントメイク
12回目		(イメージ理論①/座学)各スタイリングイメージを形成する色・形・素材・柄は何か分かるようになる ・エレガント、キュート、ロマンチック、フォークロア、エスニック、ナチュラル、アバンギャルド
13回目		(イメージ理論②/座学)各スタイリングイメージを形成する色・形・素材・柄は何か分かるようになる ・スポーティー、アクティブ、マニッシュ、モダン、クラシック、トラディショナル
14回目		(ビューティーサロン①準備)ビューティーサロンでお客様をもてなし、リクエストに応えたヘアメイクができるようになる ・接客、もてなし方 ・サロン設置、テーブルセッティング ・ヘアメイク考案
15回目		(ビューティーサロン②実施)ビューティーサロンでお客様をもてなし、リクエストに応えたヘアメイクができるようになる ・出迎えからクロージングまで
評価基準		A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点〜70点をB、69点〜60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法		出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ◎小テスト(2回)点数 50% ◎課題提出(4回) 50%
受講生へのメッセージ		美意識・プロ意識を高く持ち、授業や様々な活動に参画して『幅広い現場で活躍できるプロの卵』『求められる人材』を目指します！
【使用教科書・教材・参考書】		
メイク道具一式、授業ファイル(リングファイル)、筆記用具 シウウエムラテキスト、カラーカード、はさみ、のり 指示回★に持参		

2020年度 前期 授業シラバス

科目名 (英)	【ウェディングプロジェクト】 リアルウェディング応用	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
	Real Wedding I	授業 形態	演習	時間数 (単位)	60	開講区分	
学科	ブライダル総合科				4	曜日/時限	
【担当教員 実務者経験】							
JSH1期生として卒業後、株式会社LLBへウェディングプランナーとして就職。 京都・大阪・兵庫を中心にホテル・ゲストハウス・レストラン・専門式場等ウェディング会場におけるすべての分野でプランナーを経験。 現在は和邸宅とゲストハウスの2会場でマネージャーを兼任							
【授業の学習内容】							
模擬挙式およびリアルウェディングを通じて、結婚式の一連の流れを理解し、お客様の人生に関わることの責任感と素晴らしさを経験する							
【到達目標】							
1つ1つの行動の理解を深め新規業務・担当業務について実行に移すことができるようになる							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		1. ガイダンス(授業の流れや評価方法について)・グループ決め 2. 目標設定と業務内容の区別・担当決め
2回目		1. プランニング業務説明① 2. プランニング実施①
3回目		1. プランニング業務説明② 2. プランニングの実施②
4回目		1. プランニング業務説明③ 2. プランニングの実施③
5回目		1. プレ挙式説明 2. プレ挙式の実施
6回目		1. デモンストレーション(チームA) 2. デモンストレーション(チームB)
7回目		1. デモンストレーション(チームC) 2. デモンストレーション(チームD)
8回目		1. デモンストレーションの振り返り 2. プランニングの実施
9回目		1. 新規業務の説明① 2. 新規業務の実施①
10回目		1. 新規業務の説明② 2. 新規業務の実施②
11回目		1. プランニング業務説明④ 3. プランニングの実施④
12回目		1・2. リアルウェディングに向けた規約説明・プランニングの実施
13回目		1・2. リアルウェディングに向けた告知・プレゼン資料作成
14回目		1・2. リアルウェディングに向けた告知・プレゼン資料作成
15回目		1・2. プレゼンテーション発表

評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(プレゼンテーション評価含む)40%とする。
受講生へのメッセージ	模擬挙式・リアルウェディングにおいてチーム全体での協力が必要となります。 個人個人が自分の役割、そしてチームとして他人の人生の一部に関わるという責任感を持って積極的な行動をお願いします。 就職活動等で欠席する場合は、必ずグループ内で情報を共有してください。

【使用教科書・教材・参考書】
授業内にて随時配布

授業シラバス

科目名 (英)	【カースタイリング】 パーソナルカラーコンサルテーション・ ベーシックⅡ Personal Color Consultation Basic Ⅱ	必修 選択	必須 選択	年次	2	担当教員	
学科	ブライダル総合科	授業 形態	演習	時間数 (単位)	30 2	開講区分	
【担当教員 実務者経験】							
ドレスショップや式場を運営するブライダル企業で10年、人事教育、広報、現場マネジメントを経験。現在はブライダル他、様々な企業で人材育成トレーニングを担っている。							
【授業の学習内容】							
ブライダルの現場では、お客様のタイプに合わせた幅広い提案力が必要とされる。本授業では、シーズンカラー分析による自分自身と他人を知り、それをもとにしたシーズンシステムを用いて、シーズン別の肌質と行動形態、ブライダルのカウンセリングへの活用法を学習する。							
【到達目標】							
基礎的な色理論から人を分析するノウハウや、ブライダルの現場で活用できる知識を身に付け、接客カウンセリングで活用できるようになる。							

回数	日にち	授業計画・内容
1回目		(概要と必要性) パーソナルカラーコンサルテーションとブライダルの関わり、ベーシック色彩の基本知識を復習する
2回目		(シーズンイメージ) 4シーズンの肌と主観色の関わり、個性のシーズン分析を理解する
3回目		(シーズンイメージ) 4シーズンのイメージキーワードによる分類を理解する
4回目		(課題制作) 自分のシーズンイメージに基づいて、似合うドレス、似合わないドレスを探すことで、シーズンイメージを使えるようになる
5回目		(課題発表) 課題の発表を通して、シーズンイメージの影響を理解する
6回目		(トータルコーディネート提案) 肌質・キャラクターからの見た提案とアドバイスができるようになる
7回目		(シーズン別衣裳) 4シーズン別コーディネート、ドレスの分析方法を理解する
8回目		(シーズン別ヘアメイク) 4シーズン別ヘアメイク、色から見るバランスと顔の補正を理解する
9回目		(シーズン別ブーケ・ジュエリー) 4シーズン別ブライダル小物、トータルバランスやドレスとのマッチングを理解する
10回目		(シーズン別会場・トータルコーディネート) 4シーズン別イメージキーワードに合わせたコーディネートを理解する
11回目		(シーズン別接客スタイル) 4シーズン別特徴とアプローチを理解する
12回目		(相手に合わせたコーディネート) 相手のカラーとシーズンに合わせたプレゼントなどの提案ができるようになる
13回目		(試験) 4シーズンの特徴の理解度確認
14回目		(トータルコーディネート提案) シーズン別ブライダルコーディネートの作成を通して、トータル提案ができるようになる
15回目		(トータルコーディネート提案・発表) シーズン別ブライダルコーディネートの発表を通して、パーソナルカラーの理解を深める
評価基準	A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。	
評価方法	出席評価50% + 授業態度評価(聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度)10% + 技術評価(もしくは試験・レポート等評価)40%とする。 なお、本授業における技術評価は以下の割合にておこなう。 ・試験結果50% ・制作課題の提出率および完成度50%	
受講生へのメッセージ	パーソナルカラーコンサルテーションを学ぶことで、自分や人に似合う色、似合わない色がわかり、本来持つ魅力をより際立たせることができるようになります。また、ブライダルの仕事では幅広い提案力が求められ、コーディネートに欠かせない色の知識はとても役立ちますので、楽しく身に付けていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
パーソナルカラーコンサルテーション・ベーシック(一般社団法人国際ライセンスマネージメント機構)		